

また、本懇談会に委員の方々より提出いただきました資料といたしまして、中川委員から、資料 11-1として『毎日新聞』の「ドクター中川のがんを知る」の切り抜き。それから『がんのひみつ』の小冊子でございます。傍聴席の方には、コピーで入れてございます。

若尾委員からは、資料 11-2として「がんに関する普及啓発事業の実施状況報告」でございます。

衛藤委員からは、資料 11-3として「たばこの煙から子どもたちを守るには」という白い大きな冊子でございます。こちらも傍聴の方々には、コピーで配付させていただいております。

あと「がん対策推進基本計画」という白い冊子と、国立がんセンターがん対策情報センターが発行している「相談支援センターにご相談ください」という冊子、「がん情報さがしの 10 カ条」と、財団法人日本対がん協会御案内がございます。

以上が資料でございます。資料の不足がございましたら、お申し出いただきたいと思っております。

では、ここで一旦カメラ撮りは終了とさせていただきますので、御協力のほど、よろしくお願いいたしますします。

なお、先ほど申し上げましたとおり、渡辺副大臣からのあいさつが予定されております。その部分については、またカメラによる撮影は可能となりますので、そのタイミングにつきましては、別途御案内をさせていただきます。

それでは、中川座長、よろしくお願いいたします。

## 懇談会の趣旨などについて

■中川座長 それでは、議題に入ります前に、今回初めて開催される懇談会ということもございますので、事務局から、懇談会の趣旨などについて簡単に御説明していただきたいと思っております。

■前田室長 では、資料1と2に基づきまして、説明をさせていただきます。

先ほども御紹介がございましたが、平成 19 年 6 月に閣議決定されましたがん対策推進基本計画におきまして、この資料で申し上げますと、8 ページ目にその概要が掲載されてございます。これも非常に多岐にわたるがん対策についての協議会の方々の御意見を踏まえた計画で、閣議決定が昨年 6 月にされておりますが、この 8 ページの「2 基本方針」の 1 つ目に「『がん患者を含めた国民』の視点に立ったがん対策の実施」ということが大きな方針となっております。この方針を基に、がんの医療ですとか、がんの医療機関の整備、情報提供、がん登録、がんの予防、早期発見、がん研究といったものの個別な具体策を進めていくということになってございます。

今後、がん対策を進めるに当たりましては、こういったがんについての正しい理解の促進を図ることが、この個別の 7 つの施策に共通する重要かつ不可欠な視点であると考えてございます。

厚生労働大臣を本部長といたしますがん対策推進本部で、来年度から、がん検診受診率 50% に向けた施策を本格的に展開しようということで考えてございます。そして、がんの病態、治療法に対する正しい理解の普及啓発などが重要でございますが、がん検診の受診率は、また後ほど説明申し上げますが、46 ページの横表にございますように、乳がんが 20.3%、子宮がんが

21.3%、一番高い胃がんの男性でも32.5%ということで、まだまだ低い状況でございます。

このことは、まだがんに対する正しい理解が十分ではないのではないかと考えてございますので、正しい理解の普及啓発は、非常に重要な課題ということでございまして、がんの病態、検診の重要性、がん登録、緩和ケアについての正しい理解の普及啓発のための方策として、ここは検討するというふうに考えてございますが、碎けて言いますと、いろんな取組みを行われている方々の説明を伺っていただいて、それについてコメントをいただくとともに、有効かつ確かな普及啓発事業を実施する会議として、厚生労働健康局長が開催するものでございます。そして名称が「がんに関する普及啓発懇談会」ということでございます。

委員は、2ページ目でございます。

この人選につきましても、いろいろと検討いたしました次第でございますが、がん患者を含めた国民目線で御発言いただけるメンバーの方。医療、教育、広告などについての有識者といえますか、いろんな御経験なり、学問的な裏付けを持って御発言いただける方。そして、実際にがんの普及啓発を現在行っておられる方。そういった方々の中から、この9名の方々を選ばせていただいた次第でございます。

以上でございます。

## 自己紹介

■中川座長 ありがとうございます。

それでは、委員の先生方に、今日は第1回目ということもありますので、本当に申し訳ないんですが、簡単に自己紹介を3分ぐらいでお願いしたいと思います。私は最後に皆さんの意見を聞いて少しお話しさせていただきますので、名簿順に天野さんからお願いします。

## 天野委員



■天野委員 御紹介に預かりました、特定非営利活動法人グループ・ネクサス理事長の天野慎介と申します。よろしくお願いいたします。

グループ・ネクサスは、リンパ腫の全国患者団体でございまして、私自身もリンパ腫の患者でございますので、山田委員と同じがん友と言えるかと思っております。

本日、この場に座らせていただくに当たりまして、多くのがん患者さんや御家族の皆様、時には命を削るような御尽力があって、こういった厚労省の会議に私が一委員として座らせていただいているということで、この場で改めて、そういったがんの患者さんや御家族の皆様には敬意を表させていただきたいと思っております。

私どもの会の名前は「グループ・ネクサス」という名前でございます。「ネクサス」というのは、英